

説明会での主な質問・意見及び回答

令和2年10月1日（木） 18:30～20:00 杉並第二小学校体育館 出席者15名

番号	質問・意見の概要	回答
1	今回の改築計画には、Wi-Fiの設備計画はあるのか。	現在、Wi-Fi設備はありますので、今後も同様に整備していきます。
2	工事用の道路について、どのような配慮があるのか。	誘導員を配置し、既存校舎を壊す際などはガードを設置する予定です。詳細については、改築工事業者が決まり次第、周知します。
3	今回の計画では、校内にマンホールトイレ用のマンホールが設置されるということで、大変ありがたい。	計画では校内に10基設置する計画となり、今後はより使いやすくなる予定です。
4	現在、土日のイベント等の利用者が、学校の敷地外に自転車を停めている。毎週利用ではなく、月に1、2回程に利用制限をかけられないか。また、ルール違反の利用者に利用禁止等の制限はできないのか。	今回の計画では、東西に駐輪場を設置する予定です。利用者のモラルについては、開放団体と学校とで協議をしていきたい。
5	現在、グラウンドの砂が近隣に舞っている。新しいグラウンドでは芝生やスプリンクラーを設置するなど検討できないか。	今年改築が終わりました桃井第二小学校で採用された砂は、針葉樹の皮と砂を混ぜたもので水はけがよく、砂塵が少なくなると言われています。桃井第二小学校での経過を見ながら、適切なものを取り入れていきたいと考えています。
6	敷地の角に交番を設置してほしい。	交番設置は難しいと思われれます。できる対応としては、既におこなっている警備員の設置等で引き続き対応していきます。
7	設計図上で太陽光発電の設置が予定されているが、スマートグリッドのような設備をしたうえで売電することはあるか。財源確保の点として検討してほしい。	設置予定の太陽光発電は、10kW程度を予定しています。これは児童の環境教育や災害時の一部の電力確保等のために設置するものです。学校では電力の利用率が高く、夏休み等についても学童等が運営していることから、電力使用量が発電量を上回っている状況のため、売電は難しいと考えます。
8	今回の計画は、コロナ問題の変化によっては、計画の変更があるのか。	改築計画については、直近で計画の変更することはありません。ただし、今後の状況の変化に対応するため、フレキシビリティに富んだ建物など柔軟性のある造りを一つの理念として進めていきます。
9	新しく建てるのに今回の計画は「改築」というのか。	改築とは、既存のものを建替えるという意味です。

10	計画周知について、子どもたちやPTA、保護者、近隣の人たち等どうするのか。	今回の説明会は条例上決まっているものであるため、近隣住民の方や土地・建物の権利者の方へ周知を行いました。PTA等については学校と相談の上、行っていきます。また、改築ニュースも配布やHP等で随時発信していく予定です。
11	計画では、エアコン設置やトイレの洋式化等の設備はどうなのか。	エアコンは教室、体育館ともに設置をします。トイレについては、原則として洋式になります。
12	現在三年坂は車両の通行はできないが、道路拡幅後車が通れるようになるのか。	道路の拡幅は、建築基準法上で必要な幅員を確保するために行います。車の通行については、警察と協議をしていくこととなります。
13	体育館について、高さはどのくらいになるのか。	断面図に記載がありますが、外壁の高さは8mほどです。計画では、一番高い箇所では10.8mの予定です。現在の体育館の一番高い箇所は9mになりますが、改築する体育館の配置は西側からの離隔が確保できるため、圧迫感は減ると考えています。
14	桜の木や大きな木(ヒマラヤスギ等)現在あるものは全て切るようになるのか。	多くの樹木が新校舎が建つ範囲にあり、現在の位置に残すことは難しく、既存の桜等の木は古木であり、移植することも困難ですが、移植可能なものについて、選定を行います。また、伐採した木を活用することなども考えていきます。
15	現在杉二小のフェンスに沿ってごみの集積所があるが、今後どうなのか。	集積所については、学校及び清掃事務所と相談していきます。
16	今回の計画では、出入り口が5箇所が増えるが、防犯体制はどのようになるのか。	防犯カメラや警備員、施錠管理等運用も含めて、整えていきます。
17	歩道と学校の間への高さや材質など、北側の近隣との兼ね合いはどのようになるのか。	高さは1.8～2m前後のメッシュフェンスを設置する予定ですが、詳細は実施設計で考えていきます。北側の近隣については、次回の説明会や個別に訪問すること等を考えていきます。
18	今後の児童数が減少することも考えられるが、これだけ大きな学校は必要なのか。	令和2年度現在、児童数は614名であり、今後増加の見込みは最大770名となっているため、予測に合わせて整備を行います。今後の児童数などの推移を見ながら施設の利用方法なども併せて考えていくこととなります。